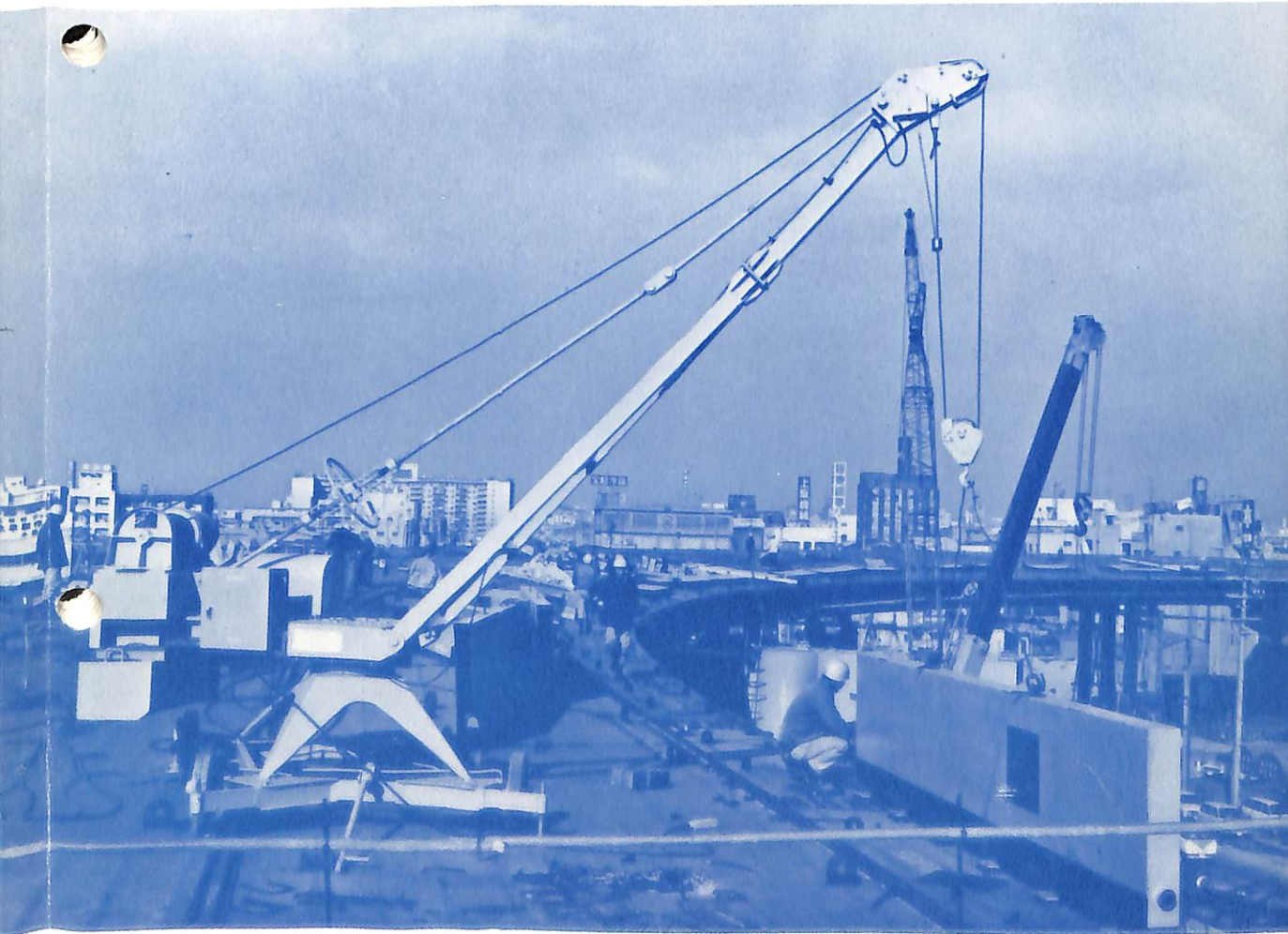




# 会報

No. 9

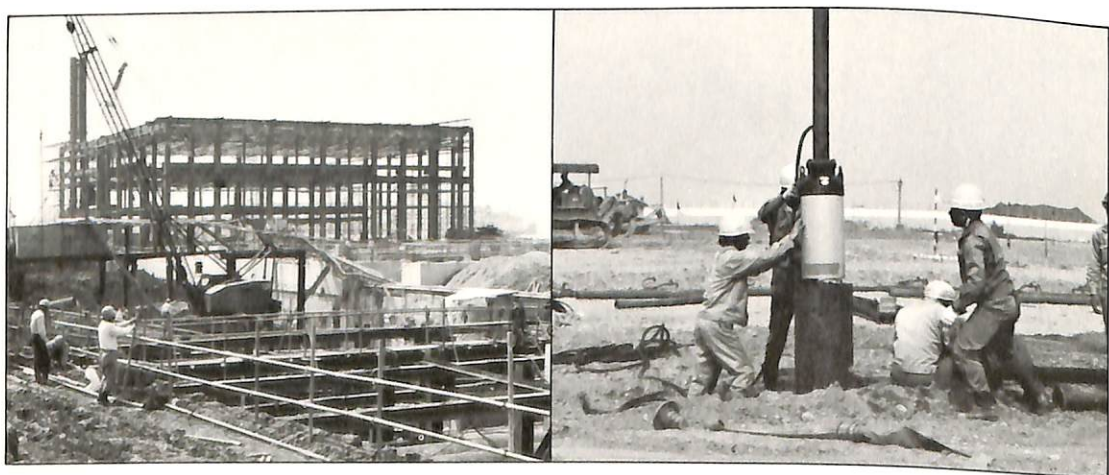
'77 夏季号



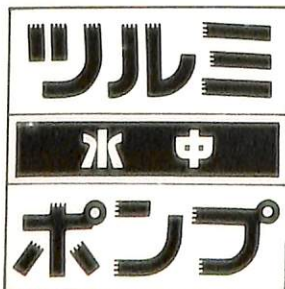
社団法人 全国建設機械リース業連合会

# 性能の良いポンプ。耐久性に優れたポンプ。 使い易いポンプ。使用場所に適したポンプ。

水中ポンプの専門メーカー・ツルミは「良いポンプ」を作り続けてきました。  
小型150Wから大型150KW。600タイプ。あらゆる用途にご使用いただいております。



水中ポンプの専門メーカー



本社：大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 ☎(06)911-2351(大代)  
ツルミインダストリアル(株)：大阪市西区南堀江大通5-15 ☎(06)541-8336(代)  
(株)ツルミポンプ：東京都台東区台東4-27-4(アイデアル第5ビル) ☎(03)833-9765(代)

全国51の拠点。車で2時間のネットワークサービス ●営業網 大阪本社、東京、札幌、函館、旭川、青森、仙台、郡山、盛岡、新潟、長岡、大宮、横浜、千葉、松本、八王子、前橋、川口、宇都宮、名古屋、静岡、金沢、浜松、豊橋、沼津、四日市、富山、大阪、京都、和歌山、神戸、堺、西大阪、姫路、広島、岡山、徳山、高松、高知、米子、福山、松山、福岡、北九州、鹿児島、沖縄、大分、熊本、ソウル、台北、香港、シカゴ

## 巻頭言

### 結集力を要す時期

(社)全国建設機械リース業連合会

会長 山内鹿蔵



政治と経済は常に車の両輪であるという点では当業界も敏感に影響を受けておりますが、昨秋来の景気浮揚の方策と補正予算の拡充による工事の季節的発注に伴うリース機械の稼働の上昇を見ましたが、その後新年度への端境期に入るや梅雨季、参議員選、夏涸れと国際的諸問題と国内における消費経済の伸び悩みによる景気の中だるみに平行して依然業界は不活発横ばいに推移している昨今であります各社の経営努力によるご隆昌と会員各位のご健祥をお喜び申し上げます。

この間全国的に漫延している過当競争による不況的要素解明のため各支部協会における真げんなる取引正常化、料金適正普及に終始努力せられ連合会もまた大極的な立直し運動を展開し、大手企業参入防止活動をはじめ、許認可制度促進、建設省ご臨席による大手建設業界との座談会を開催し業界の披歴と将来交流の前進がみられ、また4～5月にかけてアメリカ、カナダ、オーストラリアのレンタル業界研修団の来訪を受け、日本のリース業界の実態に改めて多大なる評価を受け、当業界もまた各国における低成長経済下の安定経営の実情に大いに認識を新たにしたのであります。

かねて当業界の課題となっております中小企業事業機会確保法(分野調整法)が去る第80回国会において法案が議決され、私共業界も適用の資格を得まして、今後大手企業のリース業進出に関してその分野調整上大いに好影響を及ぼすものとして改めて社団法人全建リース連を評価願えるのではないのでしょうか。

次ぎに長年にわたる会員の要望である建設省における許認可制度(または登録制度)採用申

請に伴う関係各課の前向き御指導を受けご理解を深めつつありましたごようやく当リース業界の業態の再調査ご検討の段階に入り、また反面業界会員の自粛は元より権限と責務の認識を深めて各会員のコンセンサス熱意の結集力を要す時期を迎えたものと思っております。

過般来調査委員会において行ったアンケートに対し全国会員の方々より過半数の回答を受けましたがその内容は本部の予想と大体外れてはいなかったと思っております、その中で圧倒的要望は取引正常化、過当競争の防止でご賢明なご意見は大いに運営資料に供すべく各項目に関しても誠に熱意のこもったごもっともなご意見等、連合会事業に反映して実行すべき有効な貴重なものとして改めて厚く感謝申し上げます。今後各委員会、理事会等において十分検討を加え連合会発展に繋る基盤となる事を固く信ずるものであります。

終りに去る7月10日の参議院選挙ではかろうじて自民党が過半数を確保したものの、予想される厳しい政局の今後の動向に一国民として、中小企業団体員として今後続くであろう日本の低成長経済に備え、自覚と経営努力により、安定企業としてのリース業果の今後のあり方に再認識を深められ、組織の中から脱落者のないために協会、協組、連合会の連繋を離さないよう一層心すべきではないでしょうか。

君子曰く

賢者は押れても之れを敬し  
懼れても之れを愛し  
「愛しても基の悪を知り  
憎みても其の善を知る」

(社)全建リース連

# 会員アンケート 結果について

調査委員長

坂井 照



先般実施しました会員アンケートに対しましては各地区協会長を始め各位の絶大なるご支援を得まして、6月末にて一応集計を終わりましたが、回答率は50%に達し、ご多忙のところ格別のご協力に対し深く感謝いたします。

アンケート各問に対する回答状況は、前述の集計表にて概ねその動向および要望事項を知ることができますが、それに増して(社)全建リース連の今後の運営に資すべき有益なる意見を提言され、これらの今後の組織活動により、われわれリース業者の近代化と社会的地位の向上を実現し、大いなる社会的使命の達成と繁栄に寄与するものと確信いたします。

今回アンケートの「回答のまとめ」として以下記述いたします。

〔①全建リース連の組織の認識について〕

全建リース連の全国組織化および社団法人に資格付けされたことは全般的によく認識されているものと思われ73%の比率に達し主要都市部における認識度は他地区に比べ高い。

〔②会員としてのメリットについて〕

社団法人に昇格しない以前と余り変わらないという意見は回答数の50%、十分にメリットを感じ期待しているのは40%となっている。

会員現在数	624社
アンケート回答数	318社
回答率	51%

〔③全建リース連の今後の活動について〕

- ①許認可制の促進 21.1%
- ②主務官庁との交渉力の強化 14.7%
- ③会員経営力の強化 12.7%
- ④業界情報収集伝達 12.3%
- ⑤建設業者との交流 10.8%
- ⑥政府資金の導入 10.0%

許認可制の促進問題は、主務官庁との交渉力の強化と相関関係にあり、これらを包含すると35%ともなりこの要望を施策に反映することにより全建リース連の存在は一層に明確強固なものとして、大いに会員の期待に応えることになると考えられる。

〔④許認可制の賛否について〕

- 賛成 73%
- どちらでもよい 19%

会員は圧倒的に資格付を求め、許認可制に関する期待感は大である。賛成意見としては、リース料金の協調性発揮、責任ある機械のリース、業界の秩序確立のため有効であるとしてい

る。

なお、近く建設省より業界の実態調査資料が提示される段階であるので、これに基づき全建リース連としては100%回答を目標として調査に協力し、許認可制促進の有力対策とする考えであり、各位の協力を切望する次第である。

〔⑤許認可条件として規制的義務について〕

- 当然なこととよいと考える 67%
- 現状でよい 25%

許認可の条件として当然考えられることであり、技術、設備、管理面の充実を図り、これこそ業界における地位の向上につながるもので権利と義務が存在して発展がある。現状維持では近代化も進歩も望まれないと思われ、経営の体質改善を必要とするのではないだろうか。

〔⑥建設機械リース、レンタル、チャーター業の将来性について〕

- 発展性がある 43%
- 余り大きな期待は望めない 43%
- 現状が限界で望めない 14%
- (無回答を含む)

上記のように過半数が期待薄である。しかし日本の建設機械を主体とするリース・レンタル業は、過去の高度成長時代のような好況は望めないが、先般来日したアドバンスドレンタルセミナーツアーのメンバーとの接触からも、われわれ業界もさらに近代化と結束により、経営改善を辛抱強く断行することにより将来性を創造し得るものと確信する次第である。

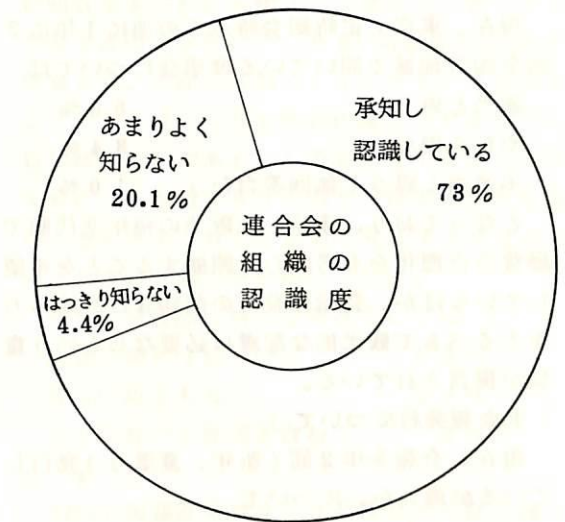
〔⑦将来発展するための経営上のポイント〕

このテーマは非常に重要な将来性を左右するポイントである。

- ①取引条件の適正化 12.0%
- ②過当競争の防止 11.4%
- ③金融面の充実 9.1%
- ④損益分岐点の把握 8.9%
- ⑤大企業の進出抑制 8.8%
- ⑥税制措置 8.5%
- ⑦情報の提供 7.6%
- ⑧共同化、組織化 7.6%
- ⑨研修制度の充実 6.7%
- ⑩災害防止の指導 6.8%

⑩計数管理

5.8%



このテーマは③とも不可分離的関連を有するものであって、われわれリース業界で生き抜くかんとするものは、一刻も早く環境の変化を認識すると共に、長期化する低成長下でいかに会員自身が協調し、経営合理化を推進して企業力を高めて行くかにあると考えられる。

特に

- (A)適正時期に機械の更新もできる財源の確保のための適正料金の維持
- (B)行政面での強力な指導による法制化
- (C)特定機種を選定と自社開発機種のリースレンタル
- (D)過当競争から脱皮しないと大企業の進出を阻止できない
- (E)業界が団結して政治的圧力団体としての行動をとる
- (F)許認可制の実現による金融、税制措置の合理化

上記の意見が述べられ、これらの施策の実現には業界の結束が強調されている。

〔⑧会費の改訂について〕

連合会の活動を現状よりさらに活発かつ強力なものにするためには現在の会費(1社当月額750円)で妥当か、については

- 妥当である 60%
- 値上げしてもよい 80%

高い(無回答含む) 10%

〔⑨連合会理事会の開催について〕

現在、東京(定時総会時点)の他に1年に2回全国各地域で開いている理事会については

適当と思う 56%

やむを得ない 34%

不適当と思う(無回答含む) 10%

となっており、東京、大阪での毎年交代制で経費の合理化をも考慮して開催することを希望しているほか、会館建設等の前向きな取組み方をとるべきで観光的な配慮は必要なしという意見が提言されている。

〔⑩会報発行について〕

現在、会報を年2回(新年、夏季号)発行しているが適当か、について

適当である 55%

やむを得ない 27%

適当でない(無回答含む) 18%

となっており、さらに内容的に改革し漸新性を加えてほしいという要望が出されている。

〔⑪会員名簿の発行について〕

隔年ごとに発行している会員名簿について

適当である 88%

適当でない 17%

会員名簿は会員相互の連絡、増減の確認等、極めて有力な資料であり、現行の状態では特別支障がないと考えられるが、特に適当でないという意見については、2年に1回でなく毎年1回発行してほしいという希望がほとんどで、われわれ業界は非常に流動的であるので会員の変動もあり様式としてはカード式、着脱リーフ型で変動のみ毎年差し換えれば非常に合理的ではないか、という提言もあった。

〔⑫アウトサイダーの指導と加入促進について〕

この問題は、非常にむずかしいことではありますが、全建リース連会員の発展のため今後避けて通ることのできない問題と考えられ、会員の意見も多種多様に提言されている。

アウトサイダーの加入可能性あり 20%

” の加入可能性なし 61%

” の加入必要とする 19%

の分布となり、その内容は下記の通り。

■許認可制について

イ. 賛成	43%
ロ. どちらでもよい	43%
ハ. 賛成できない	13%

①アウトサイダーは主として小規模企業が多いので必要最小限の条件を打ち出し加入した場合のメリットを明確化する。

②許認可制が実現すれば自然に加入促進となる。

③会員会社から借りることのメリットを建設業者にPRする。

④アウトサイダーの実情をよく調査し要望を把握して技術、経営、資金等の面で魅力のある連合会(協会)として育成、指導できる体制の確立。

⑤連合会の存在と使命について徹底的に広報活動する要あり。

⑥会員自体が適正料金を順守しない限り、加入促進は困難である。

⑦悪質なアウトサイダーの排除、仲間取引の停止など断行するかたわら、善意のアウトサイダーに対しては地区協会あるいは取引のある会員から入会を進めるのが効果的である。

⑧連合会の会員と非会員との格差が具体的に認証されるべき条件、資格付、特典がないので加入促進はむずかしい。

⑨原価計算算定要綱が劣作されているのにもかかわらず、その活用がされていない。建設業界との交流を積極的に図るべきである。

⑩不良ユーザーの締出し選別に関する相互情報交換、適正価格の厳守。

〔⑬安定成長をいかにして続けるか〕

本問題は、リース業が今後いかにして生き残るか、という重要問題であり、前問⑩と密接な関係を有し、沢山の意見が提出された。

①主務官庁に建機リース業の時代(経済的)必要性を認識させ、公正な基準料金の徹底を図り許認可制を実現して強力な行政指導により不良アウトサイダーを締出し、各界

各種の交流を深めPRを通じて時代を先取りするリース業の未来像を関係方面に認識してもらい協調体制を固める。

②会員は、自社の経営管理実体を再点検し、損益分岐点の確認と共に原価意識の徹底を図り、過当競争を自らの意思と自社の組織を通じて排除すべきである。

③過当競争を誘発するメーカーの自粛(乱売、長期割賦販売)を連合会の結束の力により推進し、大手の進出を阻止する。

④リース・レンタル機械の性能、整備、修理基準の設定により標準化を図り、使用者に信頼感を与え、保償の裏付を明確化して質と内容で存在価値を認識してもらう。

⑤ペナルティ制度の確立、機種別保有台数の相互間交流調整による稼働率向上に努める。  
⑥安定成長下にふさわしい業界の再編成、協業化(協調、受注、格納、施設等)を推進してリース業の近代化に真剣に取り組むべきである。

⑦プロ商人に徹する根性が必要である。

⑧過剰投資の排除、償却の励行、原価意識の向上等から効率的経営に切り換える。

⑨許認可制の早期実現と自主的価格体系の維持。

⑩業界の現状を広報するキャンペーンの実施。

〔⑭各種調査依頼と連絡事項に対する回答について〕

全建リース連事務局として一刻も早く資料のまとめ、配布等、日常業務の円滑な運営を願い本問題が提起されたわけであるが、実際、会員各自に権利の先取りを急がれるが、義務を公正的確に果たしていただかないと前記アンケートの回答による要望事項の対策設定もなかなか進展しないので是非とも協力をお願いしたい。

■リース業の発展性

イ. 発展性がある	43%
ロ. 余り大きな発展は望めない	43%
ハ. 現状が限界で望めない	13%

特に主務官庁の実態調査も始まると思われるが回答なきため、全建リース連として責任ある態度を表明できないか、あるいは足並みの乱れを指摘され、可能な体制づくりにマイナスとなるようであれば、一方で熱心に協力される会員に対し誠に失礼であり、このような不公正を無視することは看過できないので今後不利益な取扱いを受けるようなことが万一発生することのないよう重ねて協力をお願いしたい。

なお、同質問に対する回答としては

回答(報告)している 53%

しない時もある 39%

していない(無回答含む) 8%

むすび

(社)全国建設機械リース業連合会では広域アンケートを調査委員会として実施しましたが、今後の連合会の運営方針にも活用させていただきさらにわれわれの未来はわれわれの手で開拓するという積極的な姿勢のもとで結束して願望成就に邁進すべきであると思います。

会員各位には大変ご多忙のところ、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げますと共に不束なまめとなりましたことをお詫び申し上げます。

定

1. 貸貸期間は、晴雨に拘らず貸出日より返納日迄の計算として、御使用料は原則として前金にて申受けます。
2. 受け渡しは、店頭にて、営業時間内をお願いします。
3. 紛失又は破損其の他による損害は、御弁償願います。

社団法人 全国建設機械リース業連合会

『大手ゼネコン』と

# 座談会を開催

## 出席者

来賓 (敬称略)

△桑垣悦夫(建設省大臣官房建設機械課長)  
△広瀬優殿(同計画局建設業課長)△六波羅昭(同建設振興課金融専門官)

### 建設業側

△木下幸一(大林組)△津雲孝世(鹿島建設)  
△小谷信良(株木建設)△金田元吉(清水建設)  
△渡辺禎一(大成建設)△久保田信吾(東急建設)  
△酒井秀男(飛鳥建設)△山田良隆(間組)  
△柴田力(前田建設工業)△園田三郎(三井建設)

### 連合会側発言者

△松本常義(北海道建設機械リース業協会)  
△石井嘉一(宮城県同)△三瓶徳司(東京同)  
△高松邦彦(関東重機リース協会)△畠山久夫(日本重機リース業協会)  
△橋本和夫(神奈川県建設機械リース業協会)  
△坂井照(中部同)△宮野正三(中部重機業協議会)  
△西尾晃(大阪建設機械リース業協会)  
△三原達雄(四国建設機械リース業協会)  
△野口誠輔(中国同)△吉川義孝(石川同)△川口知男(九州同)

### 司会

△渡辺栄(全国建設業協会業務部長)△後藤毅(日本重機リース業協会副会長)

なお、この他、オブザーバーとして連合会会員が多数出席した。

全国建設機械リース業連合会(山内鹿蔵会長)主催による建設省、建設会社の座談会が6月3日、東京商工会議所で開かれた。

同座談会には来賓として建設省大臣官房建設機械課長の桑垣悦夫氏、同計画局建設業課長の広瀬優殿氏、同建設振興課金融専門官の六波羅昭氏をはじめ、大手建設会社の機械部10名、連合会側から18名の発言者と多数のオブザーバーが一堂に集り、①リース機械の利用価値②災害防止と整備技術③リース料金の適正化について活発な意見交換が行なわれた。

座談会の概要は次のとおり。(敬称略)

桑垣 建設省としては、大手のゼネコン各社も今公害関連面でも苦勞されていると思うし、また建設機械の合理的・安全な面も加味し使用損料も作っているが、これらはリース業とも密接な関連をもつので今日は皆さんの意見を聞いて今後の業に反映させていきたい。

山内 われわれ業界は石油ショック以来、低迷を続け多くの被害をこうむっており、現在やや回復期にあるとは言え、今だその後遺症に悩まされているのが現状である。ゼネコンの皆さん方には当連合会を必要欠くべからざる関連業界であることをご理解下さいまして末永く見守っていただきたい。

## 将来ともリースの比率 高まる見通し

司会 まずゼネコン側から社内におけるリースのウェイト、リースに関する評価について伺いたい。



## 建設業側

向って左より、木下、津雲、小谷、金田、渡辺、久保田、酒井、山田、柴田、園田の各氏。

木下(大林) 47、8年ごろからリースの利用が多くなっており、昨年は社内2対リース・下請1ぐらいの比率である。将来ともリース利用の比率が高まる見通しだ。

津雲(鹿島) 当社の利用比率は、昭和50年はブルドーザーは社内機10%、リース5%、下請85%、ショベルは社内機20%、リース10%、下請70%、クレーンは社内機25%、リース50%、下請25%で、平均すると汎用機では社内機18%、リース20%、下請60%である。しかし下請も当然リースを使うから、これらを加味すると社内機20%ぐらいに対してリース40%、下請40%程度ではないかと思われる。

当社としては自社機械は年々購入を抑えているし、下請にもそうするよう言っている。今後は工事量も増えていくであろうから、リースの比重はますます高まっていくはずである。ゼネコンは膨大な土地、人間を常時確保するのは無意味であるし、もう少しハード部分だけではなくソフト面の方向に向かわなければならない。当社が保有すべき機械は、リース業界も下請も持てない大型・特殊な専用機械だと思うし、これは今後増加していかなければならぬと考えている。

次にリース料金について言うと、皆さん方が非常識なダンピングをされているのではないかと思います。極言すれば建設省設定損料の50~60%でリース機械が利用できるということだ。だが果たしてこんなことをして、こんな価格でリース業界は息が続くのかと思う。安全性とか

いくつかの問題もあるが、リース業界には機械投資の相互補完的肩代りをしてもらわなければならないのだから、よく考えてほしい。

小谷(株木) 損料は今のままでは不自然で当然高くしなければならないと考える。

司会 連合会側からこれについて

高村 無謀に安いものは安全上あるいは整備の上で技術的に問題があるのではないかと思われる健全な発展もありえない。われわれも今後大いに努力して安心して任せられる機械供給を行なっていきたい。整備不良で万一事故が発生した場合でもそれをカバーできる保険を設け、会員企業全社の加入を目指している。

畠山 最近では下請、孫請といった非常に小さな所からの注文が多く、しかもゼネコンの紹介でと言ってこられるから断ることもできず、代金をもらえない、というケースが増えている。

川口 管理面はリース業側に任せてもらって合理的、経済的な補助機関として大いに利用していただきたい。

司会 建設省の方から何かご意見を。

桑垣 皆さんのお話を聞いて一言いわせてもらうと、総合建設業の伸びのためにリース業があるのではないと思う。建設業界の中には(特に本社部門は)、リース、チャーター、その他各種下請業界の実態を知らず、単にリユーべいくらならいい、という考え方があるのではなからうか。ゼネコンがもし単なる個々の単価諾否で仕事をし、関連をみないなら間違いだと思う。

ドイツの建設業は日本に比べて自社保有機が多いようで、わが国のリース業界も体力と実需に合った正常な保有量を考えるべきではなかろうか。

司会 次にリース料金の適正化について、まずゼネコン側からお話したい。

柴田(前田) 社内保有の稼働率を極端に上げることはない汎用機はリース依存でいいという声もあるが、ある長期工事の場合、自社で新しく買ってその工事でペイして、あとは廃棄できる場合、果たしてリースがいいのか考え込むケースがある。このくらい計算しないとなかなか利益につながらない。

金田(清水) 当社は作業所長の権限を大きくしており、自社機械にするかレンタルにするか所長の判断に任せている。

渡辺(大成) 私は皆さんと競合するような物は持つなという考えである。料金については所長権限になっており、私の方に高い安いとかの報告はない。

久保田(東急) リース料金は業界で決められている70%ぐらいで利用させてもらっている。物によっては50%ぐらいのものもある。

## 適正料金化の 指導を(連合会側)

司会 連合会側から、これらについて何かご意見を。

西尾 今や省資源時代を迎えて大事な機械を有効に使うという意味でリース業界に与えられた使命は非常に大きいわけである。当社ではインフレ会計導入というシステムを長らく採っているが、そこでみると建機の値上がりは驚くべきものがあり、同時に人件費、諸経費はこれまた上がる一方で、この厳しい状況をご認識いただきたい。

三瓶 私共は、零細企業であり合理化を図るために機械の増強、経費負担を少なくして賃貸料金を安くをモットーに普及してきたが、財務内容は極めて悪く、単に稼働率を上げて最低の企業維持に努めているのが現状である。



あいさつする桑垣課長

宮野 あらゆる物価、経費が上がっているのにわれわれの料金は5年前と同じで、「半額入札時代到来」とマスコミに書かれたことがある。だが機械は遊ばせたくない、従業員は食わせねばならないという現実があり、そして仕事に当たっては、なおかつ「そんな価格・サービス競争ができねば降りろ」と言われればかりである。

松本 私共、北海道の場合、積雪寒冷地での工事期間は半年間。従って競争も激しい。北海道の特殊性を考慮され、適正な料金の設定をお願いしたい。

吉川 北陸では山間地で1~5月半ばまで、平野地で2カ月間、そして裏日本の過疎地は、あらゆる意味でさらにひどく、そして包括的に言えるのは、工事量が小さく、リース期間が短くリース業者としては対応上(採算も含め)苦慮している。

三原 これからも安全面に対しては一層厳しくなると思うが、こうした費用をくみ込んだ価格安定をお願いしたい。

野口 現場ではわれわれの料率は高いといわれる。建設機械等損料算定表に芯がほしい。その芯も建設省によるといったオーソライズされたものが求められる。

司会 六波羅専門官からご意見があればどうぞ。



連合会側

六波羅 審議会の専門委員会でも建設業振興の見地から、建設業はどうあるべきかが検討されたが、今までの話を聞いていて、やはりゼネコンと下請というか、専門工事業の機能の差を踏まえる。すなわち全社が自分の会社の機能を認識すべきだと感じる。下請の使い方にしても安ければいいんだというのではなく、一応の指針を本社から流す方がいい。

## 積極的情報 交換が必要

司会 災害防止と整備技術の問題について、連合会の方から。

坂井 安全と整備についてはこれは大変気を使っており、機械の常時点検のほか現場に持ち込んだものもさらにチェックして使用してもらっている。ただゼネコンさんをお願いしたいのは、末端の下請に至るまで機械を使ってくれる人の資格というか、質の配置に十分配慮してほしい。

橋本 最近、オペレーター技術の未熟とか、

機械性能をよく知らないというようなケースが非常に多い。それが事故あるいは機械の故障につながっている。われわれはお客様の要望に応えようと努力しているが、現場で無理に機械を使われると折角の整備も無駄になって故障が起きてしまう。

石井 私共は、一応整備工場を持ち車検整備までできるようにしているが、この不景気で工場を維持していくだけでも莫大な費用がかかる。したがって良く整備された機械は多少料金が高くなることは当然のことだと考える。

司会 最後にゼネコンの方からご意見を。

酒井(飛鳥) 当社ではリースの実態というものがかみにくい安いとか、叩かれたとか、風の便りに聞きましても私共まで情報が入っていない。皆さんもわれわれの使っている機械をリースするだけではなく、こういう新しい機械はどうだろう、といった積極的情報交換がほしいと思われる。

中村 大変有意義なご意見を活発にとりかわしていただき有難うございました。

(アメリカ・カナダ・オーストラリアのレンタル業者が来日)

# わが国業界を視察

—各地区の歓迎報告記—

## 東京

### ミーティングも開く

アメリカ・カナダ・オーストラリアのレンタル業3団体一行25名は4月19日に来日し、3日間東京に滞在。

第1日目の20日は、三光機械リース(株)の近代的な設備を誇る市川工場を見学。国産の新鋭建設・設備機械に一行は興味を注ぎ熱心に質問。翌21日はロードローラーの大手メーカー、渡辺機械工業(株)の埼玉工場を訪門。渡辺与介会長をはじめ社長、工場長など同社首脳陣の歓待を受け、工場内に展示された新鋭ローラーを見て、技術的質問あるいは自分で作動して性能を確かめるなど驚くほどの熱心さで、特に小型振動ローラーに人気が集まっていた。



三光機械リースで

一行は、同社工場見学のあと、近代化された日建グループの宇都宮工場を見学。日光で1泊観光を楽しみ再び帰京し、23日、東京・千代田区の全建リース連本部会議室で東京建設機械リース業協会員とミーティングを開き意見を交

換した。



ミーティング

まず山内会長が「親愛なるビルクッシング氏一行がカナダおよびオーストラリアの同業の方々と共にはるばる日本に渡航されましたことはレンタル業界の国際親善に最も意義深いものであります。私ども日本のリース業者が1973年にカルフォルニアへ、1975年にニューヨーク、シカゴへ研修渡航いたしました際、いろいろと歓迎下さいましたことを厚くお礼申し上げます。

日本のリース業界は、戦後建設工事の増大、機械化施工の進展に伴い、1950年ごろからリース業団体の活動が活発になり、1970年に全国連合会を結成、現在20団体、711社の会員によって構成され、社団法人として関係官庁の行政指導のもとに建設業界に貢献、重要産業の一つとして認められるようになった。

しかし、1974年秋のエネルギーショックにより、総需要抑制、金融引締め等で、われわれ業界も多大の財政的圧迫を受け、過去3年にわたる低成長と不況の極限に達したわけでありました。

したがって日本のリース・レンタル業界は、

戦後の高度成長から抑制政策の苦しい体験を生かして堅実な経営方針で協会や連合会活動を強化するならば、ここ数10年は低速ながら着実な進展に継がるものと確信しています。最後に皆さん方の日本での旅が印象深い、またレンタル業界にとって実りあることをお祈りいたします」と歓迎のあいさつ。

また団長のビル・クッシング氏(カルフォルニア・レンタル協会会長)が「皆さんの暖かい歓迎を受け、大変うれしい。われわれ業界も政府の厳しい政策により、皆さんと同様な悩みを持っております。しかし私たちの息子の時代になれば業界もジェット機を持つようになって行くでしょうし、その時代に応じて努力する必要があります。今後とも日本の皆さんとはいつまでもこのような暖かい交流を続けて行き

## 神奈川

### 熱心な見学

アメリカの建設機械レンタル業界を代表し、ビル・クッシング氏を団長とする一行、25名のわが国業界視察ツアーが、去る4月19日、羽田着のパンアメリカン航空機で来日された。

一行は、旅の疲れをいやす暇もなく、翌20日は、早朝より都内の三光機械(株)工場を視察したが、折柄の国鉄はじめ鉄道網のストの余波を受けて、道路交通網は混乱したのにもかかわらず、スケジュールより早く、正午ピッタリには横浜の神奈川県建設機械リース業協会を訪問し、中村会長はじめ、各役員の出迎えに答えて、固い握手が交わされた。



ビルと握手する中村会長

たいと望んでいます。」と述べた。

このあと小俣副会長を座長としてミーティングが行なわれた。

現在、アメリカには1万4000社のレンタル業者があり、そのうち2300社がカルフォルニアに集まっているという。組織としてはアメリカレンタル協会、カルフォルニアレンタル協会、テキサスレンタル協会の3団体があり、3500社がこれらの協会に加盟しているが、今後、全米1万4000社の60%まで加盟促進を図る方針という。

また、現在2つの大きな問題をかかえており、1つは保険料が3倍にも上がったこと、二つ目はアメリカ連邦の政策として自然保護、人権尊重ということから工事認可が非常に難しくなり、工事量の減少がレンタル業界を圧迫しているとしている。



続いて、中村会長の経営する“レストラン・アリア”において、神奈川県協会が心を尽して提供した歓迎中食会が開催され、別項のメッセージが、中村会長よりあり、これに応じて、ビル団長より謝辞が述べられた後、山田副会長の音頭で乾杯し、日米杯をあわせて親交を確め合いながら、山盛りされた料理に舌鼓を打ち、ベリーグッドを連発しなごやかな一刻が過ぎた。

次いで横浜市が埋立て開発した工業団地の金沢地区先の鳥浜町にある、神奈川県リース事業協同組合(当協会会員)の施設視察に向った。

一行はバスで、市街の名所などの説明を聞きながら工業団地に到着と共に、各種機械をつぶさに見学し、それぞれの性能や、仕様概要など、いずれもエネルギーシユな質疑応答に協会役員、

また関係担当者はこれに回答を繰り返したが、その熱心さに一驚した。

続いて一行はバスの車窓より、同団地にある各種工場施設を見学しながら、本牧地区にある米軍家族宿舎や、サービスエリア等を観光し、外人墓地や、市の中心部などを見物して、ミナトヨコハマの情緒を十分楽しまれ当日の日程をとどこおりなく終了し、横浜を後に宿舎、帝国ホテルへと向われた。

(中村会長あいさつ)

「アドバンスト・レンタル・セミナー・ジャパンツアーの皆さん、港都ヨコハマへ、ようこそおいで下さいました。

神奈川県は、日本の表玄関の港として有名なヨコハマ港をはじめ、臨海工業都市として、川崎、鶴見地区には、製鉄産業と石油精製はじめ、多数の生産工場地帯があります。

また、川崎から、横浜、横須賀に沿っては、大きな造船所が多くあり、この近くには、三菱ドックや石川島播磨重工など5つの造船所があります。

また現在県下の建設関係では、高速道路はじ

め、地下鉄・下水道施設や大型ダム建設の工事も進められています。

皆様方がこれから視察する場所の近くにある根岸湾、金沢湾の埋立て事業は、数年間にわたり工事を行っております。

そしてその中においてわれわれ県内の建設機械リース業界は、いわゆる建設工事に貢献すべく、一丸となってそれらに協力致しております。県下のわれわれ業界は約100社程度ありますがそのほとんどが、全国連合会の会員に加盟しております。

これから見学していただく工業団地は、その一部の方々が団結して1か所に集結し、協同組合組織を作り、お互いに機械の購入、およびリースを相互に助け合って協力し、得意先の競合をさけて事業の業積をあげている場所であります。

本日のご来浜を心から深く感謝し、これからの日本におけるご旅行が、楽しく、そして有意義に過されますことをお祈りして、私の歓迎のご挨拶といたします。

失敗談のお粗末でも申し上げます。

恥ずかしい話ですがまず国旗の問題でした。

しかも三か国国際的レセプションの少ない当地にとってこれは問題でした。



歓迎パーティー

幸いにもホテル・ナゴヤ・キャッスルにありましたので早速拝借まず第一会場の大加利(中国料理店)に飾り、最後のお客様が引き上げられるやそれと一行のバスを追い抜いて第二会場の太平リースへ、終るや折返し第三会場のホンダ技研へそれぞれ取り外す取り付けるその裏方

さんのご苦労や大変なものでした。

パーティーを名古屋名物うどんパーティーでとクッシング氏にオファーをとってありましたところ相悪くの日曜日でキャンセル急遽中国料理に変更の旨クッシング氏に伝えてOKを取ってありましたのでいい事に思っておりましたところクッシング氏が中国料理がお嫌いだったとは穴があったら入りたい顔の赤らむ思いでした。

でも外の連中はよくしゃべりよく食べてくれたのがせめてもの救いでした。



名古屋城で

名古屋城では女の子のお尻をカメラで追廻してキヤッキヤッと大変なはしゃぎようでありましたがこれほどの国の紳士もやはり同じ日本人の海外での悪評判に少しは気を良くしたものです。

ゼミナールでパーセンテージに対して納得のいくまで質問を繰り返す姿はさすがドルの国の人等であるなあとの感を強くしました。

彼等が残していったものは何か?

## 大 阪

### 次の再会を約束

4月26日

ウィリアム・クッシング氏を団長とするアメリカのレンタル業者一行25名(上級レンタルセミナー旅行・オーストラリア人2名とカナダ人1名特別参加)は、予定通り名古屋より新幹線にて新大阪に到着。

大阪建機リース協同組合・志茂坂理事長、西尾理事、畑事務局長他数名が一行を歓迎した。大開園にて昼食後一行はツルミポンプを訪問、

元来私共日本人は舶来という言葉に弱かったこれが先天的に欧米人に対するコンプレックスは隠し様もなく島国貧乏国日本人の共通の通念でもあった様だ。

ここで彼等に一步先きんじられた所以であろう。

こう申し上げる私自身も名古屋で唯一社リース・レンタルの看板をあげたのも実は彼等の文献から学んだものであり、模倣と言えは模倣であると言える。

確かにこと機械に関しては弱電気関係を除いては到底彼等におよばない。

何故か?これは家庭教育から始まってプライマリースクールに自動車教室のある彼等の幼い頃からのメカニックに対する教育の違いと信ずる。

例えば大勢の人が車の運転は出来てもいざ故障となったら修理の出来る人が果して何人あるだろうか?

彼等に出来て私共に出来ない筈がない。

体が大きいからといって何も恐がる事はないあの高見山をふっとばす貴の花がある様に。

されば日本人もメカ(あの才の付くのではない)にもっともっと強くなる事だ。

新幹線の車窓からサイナラ・サイナラと手を振って去って行った彼等にふとこんな事を考え乍ら暫しプラットホームで回想に耽けたのでした。

志茂坂、畑両氏が同行した。



ミーティング

4月28日

大阪での一行のハイライトはこの一日につきる。

## 中 部

### 苦勞談・失敗談

アドバンスド・レンタル・セミナー・ツアーのご一行25名が4月24日当名古屋地区へ風の如く来られて風の如く去って行かれた。

たまたま団長クッシング氏と先般渡米以来旧交がありましたので来名迄の再三の連絡に当りましたが行届かなかったホストに後悔の念しきりです。

幸か不幸かご当地は半日だけのご接待でしたので東京、大阪さんに比べて大変助かったと申し上げるのが本音でございます。

しかし乍ら始めてエトランゼを迎えた協会役員一同の誠に涙ぐましいご苦労は本当にお疲れさんでしたの一言につきる半日でした。

ゼミナール等は東京、大阪さんの方が委しくご報告されておりますのでこちらはその苦労談



前夜来の雨により、この日予定された一行の行動の不自由が懸念されたが幸運にも天の恵みによりさしたる困難にも遭遇する事なく午後よりは全くの好天に恵まれ、この日の日程を成功のうちに終了することが出来た。

#### 見学

午前9時すぎロイヤルホテル出発

バスにて日商機械・成松屋・新興リース・広津機械・相互土建機械などのレンタル会社を見学した後、西尾リース八尾工場を訪問、同工場内にて大阪建機リース協同組合賛助会員の出品による製品展示会を併せて開き、一行の関心を集めた。

この一行には小物取扱業者の参加が多く、展示された商品を熱心に見学、照会している人達の姿がここかしこに見られた。

八尾にて昼食後太閤園へ出発。



西尾リースで

#### セミナー

定刻8時すぎより大阪建機リース協同組合の会員・賛助会員を交えて日米レンタルセミナー開催、まず日本側より“大阪地区に於けるレンタル業の一般説明”をした後、ツアー団からの質問を受けそれに対する回答、次に日本側からの質問に対し、日米間で質疑応答を繰り返し意見を交換した。

セミナーの閉会にあたり「両国間の地理的距離を感じさせない全く同じ悩みを日米両業界が抱えており、時代に対応した企業体質の改善を考えねばならない」とのクッシング団長の発言には興味がひかれた。

#### 立食パーティー

パーティーに先立ち次の人達を表彰し、アメ

リカ人参加者には記念品を贈呈した。

#### ※最年長参加者

サムエル・グリーンバーグ氏・志茂坂氏

#### ※最古経営者

ロバート・グラス氏・姫野氏

#### ※最年少参加者

チェック・クッシング氏・柿谷氏

パーティーの進行に従って意外にも日米両参加者より飛び込みの余興希望者続出し、パーティーはにぎやかで、はなやかな雰囲気を感じ、時間切れが惜まれる盛況のうちに終り、全員次の再会を約束して散会した。

#### 今後の問題

セミナー参加者の帰国後、次々と便りが寄せられているが全員一致して日本でのセミナー開催に協力した日本人の親切なもてなしを心から感謝している。

大阪に於けるセミナーでの質疑応答を通じ彼等に最も関心をもたらししたのは“レンタル業者間の情報交換による日米両レンタル業界のより一層の向上・発展”であった。

今後、日本側からもより活発な情報交換を通じて意志の疎通を図りお互の努力・協力によって業界の進歩、発展を希望したい。

今や世界は距離的にグングン狭まりつつある。自国のみにとじこもって姑息な経営に終始している限り、業界は他国の業者にオクレをとるばかりである。

その意味でも今度のレンタルセミナーは意義深いものであった。今後もこの様な実践活動を通じて全世界的視野を葆ちつつ世界レンタル業界の繁栄に寄与する事を念願する。

## 地区だより

# 東北の昨今

東北グレーダー(株)

社長 石井嘉一



東北の春は馳足で過ぎて、いつの間にやら梅雨入り、層雲が今日も重く空を覆っております。仕事の方も工事の端境期で、同業者は奮闘して、苦境を切抜けている者が多い現状です。

こんな中であって協会の結束も、もう一つ力不足の感じがしますが、去る5月14日県内の大手のグレーダー・ローラーのリース業者が仙台市内に集まり低迷料金の打破について第2回目の研究会を開催し、一応の結論に達した事は成果であった。

結論は6月よりそれぞれの企業努力で実施する事になりましたが、なかなか従来のいきさつもあり、申し合せを直ちに完全実行する事は困

難が多いとは考えますが、将来の業界の健全な発展の為にも時代に取り残されないような料金の確立を協力して達成したいものです。

地域の特殊性もあり、中央の業者も東北においては料金の確立のためわれわれに協調していただきたい。

少なくともわれわれ業界の破滅を招くような考えのない料金でのリースは行わないよう特にお願致します。

写真は今年の厳寒による豪雪に活躍するモーターグレーダー。

## 地区だより

# 「第8回定時総会」開く

東京建設機械リース業協会



年数短縮申請のPR△会報の発行△関係官庁とメーカー、商社、ユーザーとの座談会の開催△技術研修と親睦を兼ね、工場見学会の実施△遊休機械の交流。原価計算算定要綱および機種別保有台数等の調査△未設立部会の設立推進△不況対策協議会の効率的運用により業界の正常化を図る△魚釣り大会の実施△未加入者の加入促進△業種指定、許認可制度採用の具申。

なお表彰者は次のとおり。(敬称略)

### 技能検定実施功労者

△都労働局長・都検定協会長ならびにリース協会会長より感謝状＝大橋定義、稲石徹男、佐藤広、(三菱重工名古屋機器製作所)、小金沢浩策(上信重機工業)、斉藤充(三瓶重機車輛)、手塚定夫(日本リース工業)、野島三郎、垣隆士(三菱機器販売東京支社)、花田鎖由己(幸栄産業社)

### 優良従業員表彰者

藤田邦介、板倉久仁使、橋本忠敏、荒井泰詞、米秀幸、朝比奈義夫、岡田耕二、上石雅和、中条亨(以上、オックスジャッキコンサルタント)石井要吉、町田茂利、長谷川光重、川畑宏悦(以上、機電サービス)蒲巖、村山和子、桐生幹夫、遠藤秀雄(以上、広和産業)館野成男、黒須桂一、坂本秀之、進藤昇、佐々木靖(以上、三明興業)佐野誠(三瓶重機車輛)岩橋英祐(誠和電機)今井田康治、日高辰雄、槌谷 瞳(野村建設機械)坂本国雄、吉川弘、貝沼元子(日邦)木村滋、富原利彦、木村益郎(大三建商)

東京建設機械リース業協会(会長山内鹿蔵氏)は5月17日、協会会議室で「第8回定時総会」を開き、51年度の事業および収支決算、52年度事業計画案および予算案を原案通り可決承認した。また新理事に新明コンベアの泉水延威氏を選ばれた。

総会は、大坪理事の司会、西垣副会長の開会宣言、会長あいさつがあったあと、小林理事を議長に選出して各議案の審議が行なわれたが、席上、山内会長は「リース業界も昨今、過当競争による利益率の低下が経営を圧迫している。各会員はこのような不安定な状態を自覚し適正料金確保に努めてほしい。協会も各種部会を通じて取引正常化に関する具体策をたて、強力に推進してまいりたい」と述べた。

各議案終了後、建機技能検定功労者および優良従業員等の表彰式が行なわれ、小俣副会長の開会の辞のあと懇親会に移り、和やかなうち5時過ぎ散会した。

### 52年度事業計画

△公害防止等の研究△各種技能の研究會、講習會の開催、建機整備技能検定試験の推進△耐用

## 地区だより

# 「第6回通常総会」開く

神奈川県建設機械リース業協会



神奈川県建設機械リース業協会(会長中村憲氏)の第6回通常総会は、昨年より約1カ月早く、全建リース連の総会に先立ち、さる4月27日横浜駅東口、アリア会議室において多数の会員、賛助会員が出席して開かれた。

総会は椎野理事の司会で進められ、北村理事の開会の辞に次いで中村会長より挨拶があり、直ちに議長に山田副会長を選出して、提出議題の審議に入った。

### 〔議題〕

- ① 昭和51年度事業報告承認の件
- ② 昭和51年度収支決算報告承認の件  
(監査報告) 監事より報告
- ③ 会費改訂に関する件
- ④ 昭和52年度事業計画案承認の件
- ⑤ 昭和52年度収支予算案承認の件
- ⑥ その他

議題⑥のその他については主に第3号議案の会費値上げの件につきさらに会長、副会長より

補足説明が行われ、いずれも万場一致で原案通り可決承認された。

以上で総会を終了し、谷津倉理事の閉会の言葉で幕を閉じ、次いで第2部懇親パーティーの部に移り、賑々しいうちにも当日31名の出席者は、それぞれ会の発展と、お互いの親睦を深め合い、とどこおりなく総会を終了し、午後6時過ぎ散会した。

## 地区だより

# 「第11回定期総会」開く

中部建設機械リース業協会

すでにご承知のごとく昭和51年度は日本経済の停滞に加えてロッキード事件から政界の混迷

(坂井会長あいさつ)

が続き、不況の様相は一向に好転せず、企業の経営状態は刻一刻と悪化し、倒産件数も月間1,500件を越える現状であります。昭和52年度国家予算は赤字国債による財政投資を主体に金額的に前年度に対し増加しておりますが、工量は特に増加したいという実感を得るに至っておりません。

中部建設機械リース業協会も(社)全国建設機械リース業連合会の地区会員として先に述べました政局、経済の激動するなかに景気の浮揚を期待してまいりましたが、残念ながらリース・レンタル機械の稼働率においても収益面においてもなかなか好転せず、特に総需要抑制の経済政策下に建設業界の動向に関連して過当競争に終始してきたのでありますが、建設機械のリース・レンタル業としての社会的基盤の確立のため業界の結束と近代化に向けて今後一層の努力が必要かと思えます。

特に全建リース連会員構成会社として、リース・レンタル機械の整備技術の向上と機械管理の革新を図り、信頼される機械の提供と共に労働災害事故の防止に積極的に取り組み、将来は建設業関連業種として、許認可制実現に向い積極的活動を続け近代化を図り社会的使命の達成に貢献すべきものと存じます。

## 地区だより

# 「第20回通常総会」開く

### 大阪建設機械リース協同組合

大阪建設機械リース協同組合(理事長志茂坂敏氏)は5月18日、大阪・都島区の太閤園で、「第20回通常総会」を開き、①51年度収支決算、同事業報告②52年度予算案、同事業計画案などを審議、いずれも万場一致で可決した。

総会は、畑事務局長の司会で進められ、永田

副理事長の開会の辞に続いて志茂坂理事長が、「もっか、われわれ業界を取巻く環境は誠にシビアであるが、組合員各位においては企業努力によりこれを乗り切っていただきたい」旨あいさつ。

このあと議長に小郷平八氏(三興ヂーゼル社



昭和51年度の中部建設機械リース業協会としては本日の議案にありますように事業報告にて詳細ご報告させていただきますが、会員としての認識の高揚、価格の維持、正常取引の励行、ラジオ放送によるPR等、当地区会員のメリットに直接・間接的に寄与すべく運営してまいりましたが、これらの効果は短期的に現れるものでもなく不断の努力と会員の結束以外には自から救う手段はないのであります。

通常会員、賛助会員の皆様方の絶大なるご理解とご支援をもちまして大過なく運営ができましたことを、この席を借りまして心から厚くお礼申し上げますと共に何卒今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

長)を選出して議案審議に入り、いずれも万場一致で可決承認して総会を終了、引き続いて開かれた懇親パーティーでは景気の動向が話題の中心となっていた。

なお52年度の事業計画は次のとおり。

1. 業種指定および許認可制採用について連合会に協力し促進に努める。
  1. 組合創立20周年記念事業を開催する。
  1. 建設機械整備技能検定(52年度後期国家試験)の実施。
  1. 経営に役立つ専門家を顧問に委嘱し(弁護士、公認会計士、診断士、技能士)その活用を計る。
  1. 業界の秩序確立をはかるため紛争調定委員会(仮称)を設置する。(料金、労務問題等)
  1. 広報委員会(仮称)を設置し業界の実際を内外に広くPRする。(最低保証料金制度等)



1. シール委員会(仮称)を設置し、その活用を計る。
  1. 交友団体との交流をはかる。
  1. 建設機械の技能向上のための工場見学。
  1. 各種調査、情報の収集。
  1. 機関誌の発行。

## 地区だより

# 定例総会開く

### 中国建設機械リース業協会

中国建設機械リース業協会(会長野口誠輔氏)は5月11日、広島市の鯉城会館で定例総会を開催した。

総会は、野口会長よりこれまでの経過報告、収支報告があり、続いて52年度の予算案の提出承認が行われ、閉会した。

なお、翌々日は郷原カントリークラブで会員ならびに賛助会員の懇親ゴルフ大会が開かれた。当日は好天に恵まれ参加者24名が熱戦を展開したが、山本高義氏(光立機工)が47、44、91、21、70の好スコアで優勝した。以下の入賞者および戦績は次のとおり。(敬称略)

△準優勝=増井義隆(信和機工)47、53、100、28、72△3位=佐藤清(中国建設新聞)46、49

95、21、74。



## 地区だより

# 「第5回定期総会」開く

### 四国建設機械リース業協会

四国建設機械リース業協会（会長木下浅一氏）は5月20日、高松市の高松グランドホテルで第5回定時総会を開催した。

総会は田中理事の開会の辞、木下会長のあいさつに続いて議長に田中理事を選出して議事に入り、51年度事業報告、同収支決算、52年度事業計画案、同予算案を万場一致で可決承認。

このうち事業計画では、今年度は各分会ならびに各地区ブロック別の会の開催を積極的に引き合いの交流をはかるなど今後活発に活動することにし、新たに機械部会長に脇尾郁夫氏（ワキタ）、仮設部会長に伊達稔氏（愛媛建機リース）を選出した。

なお、任期満了に伴う役員改選では理事会案が提出され全員異議なく次の各氏が議長より報告指名選出された。

木下浅一（四国仮設工業）松井貢（松井電機）伊達稔（愛媛建機リース）、玉置秀雄（アジアリース）、田中萬一（田中鉄工所）、三原達雄（トヨーリース）、喜多美行（喜多機械産業）、福田穂積（四国建設センター）、宮竹浩一（四国ビティリース）

なお、会長には木下浅一氏（再選）、副会長に松井貢氏（再選）、伊達稔氏（新）、玉置秀雄氏（新）が選ばれた。

## 地区だより

# 定期総会開く

### 九州建設機械リース業協会

九州建設機械リース業協会（会長林田陽一郎氏）の51年度定期総会が6月28日、福岡市博多駅南の八仙閣で開かれた。

まず林田会長が「先行き見通しに明るいものがあるが、いよいよ体制の確立もなった現在、公共工事の増量を期待しながら今後とも建設省へのアタック、他業界との協調、さらに内部体制の確立、部会の積極活動——で盛りあげていかなければならない。このため社団法人による社会的向上、建機リース業種指定、機械化協・



道建協・県関連産業協議会など業界との協議といった課題に積極的に対処し、また最大の課題である適正料金の確保など、確固たる姿勢で臨んでいきたい」旨あいさつ。

このあと矢野議長を選出して議事に入り、51年度決算、事業報告、52年度予算案、同事業計画案等を審議し万場一致で可決承認した。

[52年度事業計画]

①適正料金の研究協議の実施②災害公害騒音防止、安全衛生対策の推進③行政施策への働きかけ④業種指定および許認可制採用促進⑤メーカー、ユーザーに対するPRとサービス推進⑥正常取引の確保、遊休機械の交流、情報交換⑦賠償保険（AIU）加入⑧他業界団体との接触⑨主務官庁との懇談⑩原価計算算定要領、機種別保有台数調査の実施など。

## なんでも貸します記

5月3日より5月22日まで、名古屋金城埠頭の国際展示場において開催された「中国展」に機械リースとは少々畑違いではありますが、当社より物品リース（下記物品）しましたので記してみました。

今回の中国展の主催は、県、市、商工会議所等で組織された協力会が引受け団体となって主催するため備品その他リースによって侷うことになり、われわれ業者の出番というわけです。

電話があり、「お前の会社は何んでも貸すそうだが、本当か」と念を押され、看板に偽りはなし、と引き受けました。

屋外用大型テント等、専門業者が引き受ける部門を除いてのリストを見てビックリ。現場で宿泊して作業をする中国の人のベッド、フトンから机、イス、ロッカーはもとより、医療用ベッド、タンカ、自転車、電気メガホン、応接セット（高級、中級指定あり）、電気ゴタツ（この暑いのに麻雀でもするのか）、入場者数をチェックするためのカウンター、灰皿、くず入れまで一。

## 近藤産興(株)

### 近藤昌三

納入が始っても会場の進行、用員の増加に合せ順次入れろとのこと。4月上旬より開会まで毎日といってよいほど、開会されてもあれが足らぬ、これを追加してくれ、すぐ持ってこいで振り回されました。終了後の回収、保管も大仕事です。リース料については、これは業務上マル秘（少々高くなるのは事実）。

当社の看板「何んでも貸します」どうぞご利用ください。

記

折たたみイス、スチール机、回転イス、会議用テーブル、自転車、空気入れ、洋服ハンガー、ハンガー掛、ロッカー、灰皿、オボン、やかん、紙屑入れ、応接セット、長イス、ベッド、コピー、黒板、カラーテレビ、電話台、電気コタツ、手押車、キャビネット、長ソファ、テーブル、カウンター、電気メガホン、つい立、タンカ、医療用ベッド、医療用丸イス、フェンス、傘、バケツ、チリ取、ホーキ、流し台、ガス台、タバコボンセット。

# リース機械の賠償責任保険

AIUに団体加入

連合会で促進

安い保険料で  
大きな補償

全国建設機械リース業連合会は、リース機械の賠償責任保険についてAIUと折衝していましたが、先に開かれた理事会で団体加入することが承認されました。この保険は、各種建設用リース物件（公道走行可能な自走式建機を除く）を対象とし、万一の場合、対人（1人につき）2,000万円（1事故につき）4,000万円、対物（1事故につき）100万円まで賠償金が支払われるというもので、団体契約であるため、安い保険料で大きな補償が得られるというのが特長。

加入方法は、まず連合会とAIUの間で団体契約を結び、各地域団体が窓口となって加入希望者を集め一括加入するもの。したがって連合会さん下の各地域協会員であればこの保険に加入することができます。

賠償の範囲としては、①保管中の機械が原因で他人にケガを与えたとき②積込中に誤って落とすユーザーにケガを与えたとき③ユーザーが作業中に事故が発生、機械の整備不良が指摘されたとき一などに支払われるもので、てん補事項としては次のような例があげられます。

問 整備不良で貸出した発電機の操作をしようとしたら感電死した。

答 感電死と整備不良との間に関係があり、かつ整備不良がリースした段階で存在した場合は、そのような不完全な状態で貸

出したリース社の過失であり、てん補の対象となる。但しリース社の従業員が操作して感電死したのであれば、てん補されない。（これは労災保険が適用される）

問 疲労したワイヤーを交換せずにリースしたクレーンが発電機を吊り上げたところワイヤーが切れて現場作業員の乗用車をつぶした。

答 リースの段階でワイヤーが疲労した状態であれ、リース社の過失であり、てん補される。

問 自社の敷地内でユーザーが機械を受取りにきて、ユーザーが積み込み作業をしていて誤ってユーザーの作業員がケガをしたリース機械に積み込み作業に影響するような瑕疵があった場合は、てん補の対象となるが、機械にそのような瑕疵がなければ作業員のケガはユーザーの作業ミスであり、てん補されない。

問 リース機械引渡しや引取りの作業中に近所の子供とユーザーの作業員をケガさせた。

答 リース機械自体の瑕疵が原因であり、その瑕疵がリースの段階で存在していた場合はてん補される。リース機械に欠陥はないが、リース社の従業員がリース機械の操作を誤った結果であれば当然てん補される。ユーザーの従業員等の操作ミスであればてん補されない。

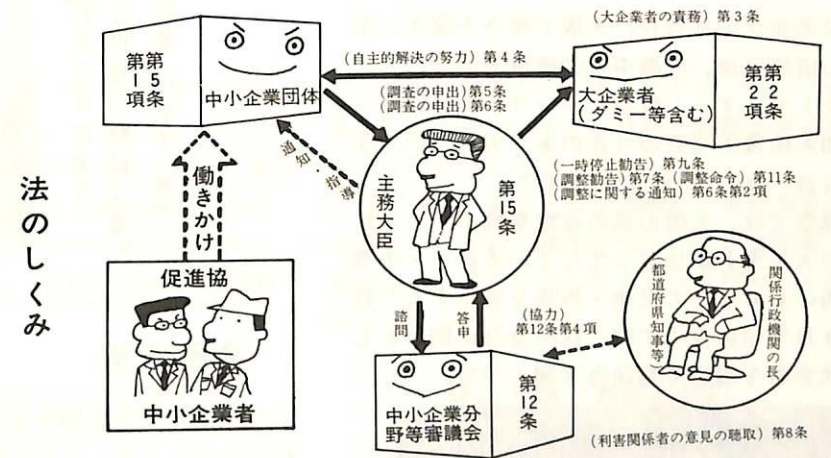
問 ユーザーから注文を受けた機械がたまたま無かったので同業者から借りてリースしたら、その機械の不良によりユーザーの作業員がケガをした。

答 この保険契約の対象となる機械は、リース社が所有管理するリース用の機械であり、同業者から借りて直接同業者よりユーザーへリースされたのであれば、その機械に起因した損害はてん補の対象とはならないがこの保険に加入している他社からであれば対象となる。また借りた機械を引取り自社で整備点検してユーザーへリースしたのであれば対象となる。

## トピックス

# 中小企業事業機会確保法 （分野調整法） について

◎大企業の進出を防ぎ、われわれ中小企業の経営と生活を守るためのものです。



中小企業事業機会確保法（通称＝分野調整法）が第80回国会において、ようやく実現しました。中小企業者が伝統的な技術や味を守り、きめこまかなサービスに心がけながら、地域経済の中で長年にわたって開拓してきた分野を守ろうという動きは昭和30年代からありました。

しかしながらその多くは巨大な資本力を背景とする大企業の横暴な進出に対して、中小企業業界が個々別々に対応してきたため、ともすれば弱い立場にある中小企業者の泣き寝入りでウヤムヤにされてきました。

成立した分野法の正式な名称は「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律」というものです。

この法律の目的は、「中小企業の事業活動の機会を確保するために中小企業者の経営の安定に悪影響を及ぼすおそれのある大企業者の進出を調整する」ことにあり、中小企業団体の申し出を受けて、主務大臣が必要な調査を行い、その結果を中小企業団体に通知する。そして中小企業団体の調整の申し出を受けて主務大臣は、中小企業分野等調整審議会の意見を聞き、大企

業に対して、事業の開始または拡大の時期の繰下げ、規模の縮小を勧告する、というものです。

また、勧告の行われた大企業者が、その勧告に従わなかった場合は、主務大臣はその旨を公表することになっています。

しかし、公表だけでは公害問題などと異なりなら社会的制裁とならず、大企業者にダメージを与えるものではなく、勧告の実効を期待することはできません。そこで命令・罰則規定が設けられました。その内容は次のようなもの。「主務大臣は、大企業者に正当な理由がなく、勧告の措置を執らなかつた場合、相当数の中小企業者の事業の継続が著しく困難となるおそれがあると認めるときは、中小企業分野等調整審議会の意見を聴いて当該大企業者に対し勧告の措置をとるべきことを命ずることができる」「この命令に違反した場合、100万円以下の罰金に処する」というもの。

また、主務大臣が調整勧告の内容について審議会にはかっている間に、大企業者に既成事実をつくられないように、第9条に「一時停止勧告」の条項が設けられています。

# 特別土地保有税 「徴収猶予」の改正

土地税制の大きな柱の一つである特別土地保有税が52年度からちょっぴりゆるめられます。これは、①徴収猶予の期間が「3年」から「相当期間」に、②猶予開始時期を許可がおりなくても、協議に入った時点から——の二点です。税制本来の趣旨に沿うよう手直しするのが目的です。

ゆがんだ運用是正のため「最大限3年」を「相当期間」に

土地税制のうち国税である法人の譲渡益に対する重課税は、52年度改正では見送られましたが、地方税である特別土地保有税が改正されました。

特別土地保有税は、44年以降に取得した一定面積以上の土地について、取得時に取得税3%、それに毎年、保有税1.4%を課税するもので、これによって企業の値上がり待ちのための買い占めを防ぎ、宅地の供給を促すのがねらいでした。

このような税制の趣旨に照らして、徴収猶予の規定があります。これは、住宅地の供給につながる優良な宅地開発については、特別土地保有税の徴収を猶予し、実際に住宅地として売り出すときに税を免除しようという制度で、具体的には、知事が住宅地の供給として開発許可を与えた時点から最大限3年間は徴収を猶予していました。しかし、現状では、公共施設の負担増などのため、開発許可を与えない自治体が多くなっており、徴収猶予の規定が法律の趣旨通りいかされていませんでした。

このようなことから、住宅地として供給する

ことが明らかであり、本来払わなくてもよい税金を払わされているとの不満が開発業者の間に高まっていました。

自治省も、特別土地保有税が、税制本来のねらいからはずれて運用されているのは問題との判断から、実態に合ったものにただすことに踏み切ったものです。

商品分類＝利益本位に  
リスク商品も同様に一

商品分類の仕方によって利益効果も大きく変わってきます。

商品の一般的分類は、①品目別、②用途別、③材質別、④客層別、⑤年齢別などです。従来よく使われた分類もそれなりの効果はありますが、半面いくつかの問題点を残しているとみられます。

従来かけていた手間や経費の中で、より効率的な分類方法ができてこそ効果があるはずですが、

- そこで、参考に掲げますと次のとおりです。
- ① 商品分類の終局目的は、利益の追求です。
  - ② 従って、売り上げ商品、利益商品を中心に分類します。
  - ③ これらの商品のうち、特にリスク（危険）負担のかかる商品も同様。
  - ④ これら以外の商品は一括管理的な扱いとします。

利益確保の近道は、いうまでもなく、売り上げ増の利益率の多い商品を多くさばくことです。残ると損失の大きい商品のチェックも大切です。

## 告知板

### 「仮設部会」会合開く

部会長に 渡辺 昇氏

仮設部会は7月12日、大阪で部会を開き、①全国の情報交換、強調事項②機械部会との交流③アウトサイダー（仮設グループ）の全建リース連加入促進④部会の今後のあり方について⑤次回会合—などについて討議した。

同部会では、全国の横の連繫を図るとともに仮設の大手業者が加盟してしている関東・中部・関西のKL会との交流・折衝を強化する方針で、9月中旬に東京で開く次回会合に関東KL会の代表者を招いて懇談会を開く予定。



仮設部会の会合

なお、部会の役員は次のとおり決まった。

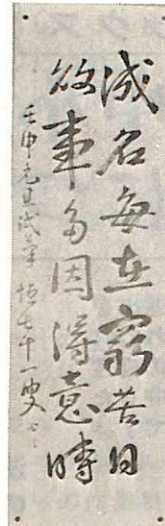
△部会長＝山一仮設△副部会長＝矢野商店、小松物産リース△幹事＝東建リース鋼業、日本リース工業、近藤産興、新関西、愛媛建機リース、九州産業運輸。

### 阿倍会長（宮城県）の 年頭筆跡照介

写真の筆跡は、宮城県建設機械リース業協会の会長、阿倍喜平氏が今年の年頭に書き初めたもの。

各地区協会役員に配られたものですが心すべき言葉であるので会員みなさんにご披露いたします。

「名を成すは毎に窮苦の日にあり  
事に敗るは多くは得意の時による」  
(壬申元旦試筆 恒七十一 申)



### 名称変更

△兵庫県建設機械協同組合リース部会（部会長 桐月正邦氏）はこのほど名称を「兵庫県建設機械リース業協会（会長 桐月正邦氏）」に変更した。

### 寄 贈

全建リース連と  
郷土民芸（第3回）



「千成瓢箪」（硝子ケース付）  
連合会本部会議室に飾付しています。

寄贈地区  
大阪建設機械リース協同組合

## 主要行事一覧

<52年1月～6月>

### 第4回定期総会 開く

全国建設機械リース業連合会は5月27日、東京・千代田区の本部で「第4回定期総会」を開きました。

議案は①51年度事業報告②51年度収支決算③52年度事業計画案④52年度予算案⑤新加盟地区協会紹介の件⑥役員一部変更の件⑦交付金減額の件-などで、審議の結果、全て万場一致で可決承認されました。



定期総会

なお、52年度の事業計画は次のとおりです。

1. 災害、公害、騒音防止ならびに安全衛生に関する体制の推進を図り、建設機械の技術開発、わが国建設産業の発展に寄与する。
  1. 建設機械賃貸事業に関する行政施策への協力。
    1. 原価計算算定要綱及び機種別保有台数調査実施（53年度版作成のため）。
      1. 連合会のユーザーに対するPRとサービスの推進指導。
        1. 正常取引の確保、遊休機械の交流及び情報の交換指導。
          1. 会員の資質の向上を図るため技能研修等の講習会開催。
            1. 業種指定及び許認可制採用促進に努める。

1. 「建設機械整備」技能検定試験実施に協力する。
  1. 各種調査、会員アンケート調査の実施。
    1. 建設省、建設業者を囲む座談会の実施。
      1. 各種事故、災害防止、健康管理月間の実施。
        1. 全国友好団体との交流。
          1. アウトサイダーの加入促進。
            1. オーストラリア視察研修旅行派遣の諸準備（53年度実施）。
              1. その他連合会の発展と目的達成のため、メーカー、ユーザーとの懇談会開催及び公共のためになる事業を行う。

### 理事会

- ◇3月8日 三重県、第三賢島荘。  
出席理事25名、委任5名。  
監事、参与その他出席26名。

#### 議案

- ①業種指定ならびに認可申請について  
建設省も協力的であり、一步一步前進していることを説明して了承。
- ②点検表作成について  
調査委員会作成案を了承。
- ③ステッカーの作成について  
今後の作成検討については企画委員に一任。
- ④会員アンケート調査について  
本部事務局において早急に印刷の上各地区に配布することになった。
- ⑤建設省機械課、建設業者との座談会開催月日について
- ⑥会費の増額について  
月額1000円に増額を決定。
- ⑦第4回総会開催月日について  
5月27日に決定。
- ⑧第10回理事会開催月日について

## 主要行事一覧

- 10月6日、7日ごろ石川、福井両協会担当で開く予定。  
⑨隣接地域県ヘリース機械を持ち込む場合は、その地区との料金調整をして適正価格を守るようにすること。  
⑩リース機械に対する賠償保険について

- ◇5月27日 本部会議室。  
出席理事29名（委任状3名）  
監事、参与、代議員17名。

#### 議案

- ①兵庫県西部地区建設業者組合退会承認の件
- ②理事一部変更の件
- ③第10回理事会について  
石川、福井両協会の担当で10月6日片山津にて開催。
- ④各委員会の報告について
- ④建設省、建設業者との座談会について
- ④業種指定問題と分野調整法
- ④点検表、保有台数、アンケート調査について
- ④会報発行について
- ④ステッカーについて

### 合同委員会

- ◇2月18日 本部会議室。PM2時～  
◇4月13日 本部会議室。PM2時～  
議事  
①ARA研修団来日について。  
②建設省との損料打合せ会について  
③建設省、建設業者との座談会について  
④AIU（賠償保険）加入について  
◇6月22日 本部会議室。PM2時～  
議事

- [各委員提議事項について]  
(企画委員会)  
①仮設部長長について  
②AIU保険について  
(調査委員会)  
①会員アンケート集計について  
②点検表について  
(広報委員会)  
会報について  
(総務委員会)  
①移動式発電機の届け出について  
②大手企業のリース業参入について  
③分野調整法について  
④業種指定について  
(渉外委員会)  
建設業者との座談会について

### 調査委員会

- ◇2月4日 本部会議室。PM2時30分～  
議事  
①点検表のまとめについて  
◇5月13日 本部会議室。  
(特別調査委員会)

### 本部役員会議

- ◇1月11日 本部会議室。PM1時～

# 残暑御見舞い申し上げます

50音順

日本重機械リース業協会 正会員・賛助会員一同

(正会員)

東リース

株式会社相川重機

朝日重機建設株式会社

株式会社青木企業

株式会社イマギイレ

株式会社既橋鉄工所

栄国建機株式会社

大高重機株式会社

関東重車株式会社

関東フォークリフト株式会社

関東機工株式会社

神野重機株式会社

協和建機株式会社

共英商事株式会社

建設機械産業株式会社

小松物産リース株式会社

サンコーリース株式会社

サンリース株式会社

三楽リース株式会社

株式会社山陽

三和通商株式会社

株式会社三幸重機

三機商事株式会社

有限会社桜井建機

産栄リース販売株式会社

有限会社三明商工

埼玉重機株式会社

三協重機建設株式会社

新川工業株式会社

新栄建機株式会社

松栄重機株式会社

新功商事株式会社

新英工業株式会社

神鋼車輛株式会社

有限会社鈴木商会

株式会社仙波土木

太陽リース株式会社

大建機械株式会社

多摩リース工業株式会社

大拓工業株式会社

大和機工株式会社

株式会社高林興業

ソクバ建機株式会社

鶴島建機株式会社

有限会社塚原商店

有限会社富岡重機

東都リース株式会社

東京レンタル株式会社

東日重車株式会社

日機工業株式会社

日本機工株式会社

日研企業株式会社

西尾リース株式会社

日建産業株式会社

ニッケンダイヤリース株式会社

日本住宅産業リース株式会社

日菱レンタル株式会社

野村建設機械株式会社

光興業株式会社

日立バッテリー販売サービス株式会社

有限会社日野機材

武久興業株式会社

株式会社福永組

有限会社福野屋電機製作所

富士建装株式会社

平和舗装株式会社

丸栄建設工業株式会社

株式会社丸藤

真弥機業株式会社

有限会社三丸建機

ヤマサン工業株式会社

有限会社谷津商会

ユナイトリース株式会社

吉田産業株式会社

リフト商事株式会社

有限会社渡辺建興

株式会社共福商会

昭和建興株式会社

世田谷リース株式会社

多摩重機株式会社

大日建設株式会社

(賛助会員)

川崎重工工業株式会社

キャタピラー三菱株式会社

株式会社小松製作所

酒井重工業株式会社

ダイハツディーゼル株式会社

大旭建機株式会社

東京産業株式会社

長岡技研株式会社

日熊工機株式会社

日平産業株式会社

北越工業株式会社

マイカイ貿易株式会社

三菱重工業株式会社

三笠産業株式会社

株式会社明和製作所

湯浅金物株式会社

ラサ商事株式会社

渡辺機械工業株式会社

# 残暑御見舞い申し上げます

50音順

## 建設機械一般

株式会社 **オマタ土鋳機商会**

社長 小俣 実

〒150 東京都渋谷区東2-29-3

☎ 03 (400) 2591 (代)

## 建設機械一般及び仮設機材

株式会社 **小松物産リース**

社長 小松 一平

〒121 東京都足立区西保木間1-14-8

☎ 03 (884) 1066 (代)

建設機械賃貸・製作・販売・修理  
株式会社 **広和産業株式会社**

社長 佐藤 富男

本社工場  
〒332 埼玉県川口市青木2-15-16

☎ 0482 (51) 7483 (代)

第二工場 埼玉県川口市安行原根谷812-1

## 建設機械一般

株式会社 **三瓶重機車輛**

社長 三瓶 徳司

〒175 東京都板橋区新河岸2-9-5

☎ 03 (938) 7200 (代)

各種 フォークリフト・ショベルローダ  
賃貸・販売・修理

株式会社 **関東フォークリフトサービス**

社長 松尾 茂

〒135 東京都江東区毛利2-2-8

☎ 03 (633) 0151 (代)

## 水中ポンプ一式 電気機械一般

株式会社 **広陽電機株式会社**

社長 力万 利雄

〒121 東京都足立区西保木間1-14-9

☎ 03 (884) 2374 (代)

ベルトコンベア製造・リース専門  
土木建設用及び平型(フラット)

株式会社 **三明興業株式会社**

社長 山内 鹿蔵

〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-14

☎ 03 (711) 5471 (代)

## 建設機械一般

株式会社 **三和リース株式会社**

社長 西垣 勝行

〒123 東京都足立区鹿浜2-25-18

☎ 03 (897) 7766 (代)



残暑御見舞い申し上げます 50音順

土木建設機械総合リース  
及び推進工事用機械器具  
製作、リース

**新川工業株式会社**

社長 新川 大吉

☎132 営業本部 東京都江戸川区字喜田219  
☎ 03 (687) 1 6 4 1 (代)

建設機械一般

**株式会社城南建材社**

社長 小林 鈴夫

☎157 東京都世田谷区砧公園2-3  
☎ 03 (700) 9 7 9 4 (代)

パイプロ・発電機  
コンプレッサー・水中ポンプ

**新電気株式会社**

社長 小沼 光雄

☎132 東京都江戸川区南船堀町7880  
☎ 03 (687) 1 4 1 1 (代)

建設機械一般

**大正建機株式会社**

社長 西野 正

☎144 東京都大田区多摩川2-15-4  
☎ 03 (759) 8 2 8 1 (代)

建設機械一般

**大建機械株式会社**

社長 大坪 安治

☎121 東京都足立区入谷町1683  
☎ 03 (897) 7 3 0 1 (代)

建設機械賃貸・製作・販売・修理

**株式会社 日 邦**

社長 中村 勝彦

☎110 東京都台東区上野7-11-7(川村ビル)  
☎ 03 (843) 3 8 5 6 (代)  
営業所 名古屋、大阪、千葉

建設機械一般

**日本リース工業株式会社**

社長 手塚 定夫

☎160 東京都新宿区番衆町36  
☎ 03 (351) 7 1 8 1 (代)

土木建設機械総合リース

**双葉リース株式会社**

社長 福山 勝

☎133 東京都江戸川区南篠崎4-284-1  
☎ 03 (679) 1 2 3 6 (代)

残暑御見舞い申し上げます 50音順

シートパイル・レール・架設材

**株式会社 柳沢商店**

社長 柳沢 彰

☎104 東京都中央区勝どき3-5-6  
シヤンボール築地204  
☎ 03 (531) 8 5 9 1 (代)

建設機械賃貸・修理・販売

**大塚機械株式会社**

代表取締役 大塚 喜一

☎220 横浜市西区平沼1丁目21番4号  
☎ 045 (323) 2 2 2 1 (代)

建設機械賃貸・修理・販売

**木立機材工業株式会社**

代表取締役 木立 将量

☎221 横浜市神奈川区綿花町1丁目4番4号  
☎ 045 (461) 1 4 8 1 (代)

建設機械賃貸・修理・販売

**常盤工業株式会社**

代表取締役 源 藤作

☎232 横浜市中区かもめ町22号  
☎ 045 (622) 8 8 7 1 (代)

建設機械総合リース・レンタル業

**株式会社 中村商店**

取締役社長 中村 憲

☎220 横浜市西区平沼1丁目2番23号  
☎ 045 (321) 1 6 4 1 (代)

土木建設機械のリース&レンタル

**橋本リース株式会社**

代表取締役 橋本 和夫

本 社 横浜市戸塚区元大橋2丁目38番17号  
☎ 045 (891) 6 9 9 0 (代)

貸<sup>フォークリフト</sup> <sup>ショベルローダー</sup> <sup>ブルドーザー</sup> 売

**(株)富士フォークリフト**

代表取締役 小林 豊

リース部 横浜市西区久保町259-2 (045)921-1211  
販売部 (045)242-7555

建設機械賃貸・修理・販売

**有限会社 松屋機械工業**

代表取締役 谷津倉 保

☎250 神奈川県小田原市成田808番1号  
☎ 0465 (36) 5 1 1 5 (代)

# 残暑御見舞い申し上げます

50音順

建設機械販売・賃貸

## 株式会社 山敬商会

代表取締役 山田 敬太郎

〒236 横浜市金沢区鳥浜3丁目7番地

☎ 045 (775) 1111 (代)

建設機械・産業車輛機器  
生コン・砕石・汚水処理プラント  
修理・販売・リースレンタル

## 大和機工株式会社

代表取締役 坂井 照

本社 名古屋市中村区広小路西通3-9

TEL 052-582-5131

工場(事業部) 大府市共和町藪南1番地

TEL 0562-47-2161

## 福島県建設機械仮設リース業協会

会長 佐藤 巳代吉

〒963 福島県郡山市神明町12-8 (神明ハイツ311号)

電話 (0249) 34-0878

建設機械と  
コンプレッサー・サンドブラストの  
販売・賃貸・修理

## 株式会社 秋田商店

〒532 大阪市淀川区十八条1丁目8-38

☎ 06 (399) 5441 (代)

貴社に作業の効率化、省力化を  
それが当社の願いです。  
土木建設機械賃貸・販売

## 茨木機械株式会社

代表取締役 宮田 幸則

本社 茨木市下穂積1丁目6番22号

☎ 0726 (23) 0941 (代)

機材 茨木市安威1477

センター ☎ 0726 (43) 6718

建設土木機械リース

## 株式会社 関西機工

取締役社長 志茂坂 敏

〒556 大阪市浪速区東神田町873-1

☎ 06 (561) 8601 (代)

水中ポンプ・発電機  
専門リース

水のコンサルタント

## 旭栄興業株式会社

取締役社長 岩崎 昇

〒535 大阪市旭区大宮1丁目11番15号

☎ 06 (955) 2020 (代)

# 残暑御見舞い申し上げます

50音順

創業41年  
27年 賃貸をはじめ 土建機械・建設資材  
現場用組立ハウス 賃貸~販売

## 相互土建機械株式会社

本社 大阪市浪速区久保吉町1242 ☎556

☎ 06 (568) 1234 (大代表)

滋賀営業所 滋賀県栗太郡栗東町大字出庭天白 ☎520-31

☎ 07755 (2) 2143 (代)~5

建設機械・海洋土木機械リース  
(サンドコレクター<泥水処理機>販売)

## 泰宏工業株式会社

代表取締役 姫野 勝

〒551 大阪市大正区三軒家西3丁目2-23

☎ 06 (552) 2721 (代)

リンカーン社製品販売

エンジン 発電機 建設機械・賃貸・販売・修理  
溶接機

## 大東興業株式会社

代表取締役 塚崎 誠康

〒660 尼崎市杭瀬南新町2丁目60番地

☎ 06 (488) 4081~4085番

東京支店 東京都千代田区神田佐久間町1の11

産報佐久間ビル内

☎ 03 (251) 4771 (代)

支店長 弘光 英敬

建設機械の  
販売とリース・レンタル

## 中央機械株式会社

代表取締役 野崎 強

〒556 大阪市浪速区桜川2丁目1096

☎ 06 (562) 0731 (代)

土木・建設機械  
賃貸専門の店

## 株式会社 成松屋

代表取締役 永田 仁作

〒556 大阪市浪速区幸町4丁目5の20

☎ 06 (562) 4461~6番

建設機械のことなら何でも  
便利なシステム

貸し・売り・買いの3拍子!

◎海外ルート確立(台湾、フィリピン、タイ...etc)

## 西尾リース株式会社

取締役社長 西尾 晃

●本社: 大阪市南区鯉谷中之町67 ☎06(251) 7302 (代)

●営業部: 東北 ☎02237(3)4339 関東 ☎03(835)0240 名古屋 ☎0586(77)5240

関西 ☎0729(49)4500 中国 ☎08266 (4)2567 仮設 ☎0729(71)3801

営業開発 ☎06(745) 7681 その他全国25店舗・15サービス工場

あらゆる建設機械と各種ポンプ  
レンタル&リース

## 有限会社 日商機械

営業所 ☎ 06 (568) 3211 番(代)

大阪市浪速区芦原町1176-3

(立葉町バス停一ツ東辻南50m)

本社 ☎ 06 (568) 3236~3237 番 夜間兼用

大阪市浪速区木津川1丁目7番地の2

営業品目

NNC 空気圧縮機 発売元  
株式会社日立製作所 空気圧縮機販売店  
北越工業株式会社 特約代理店・指定工場  
各種空気圧縮機及び真空ポンプ  
各種ニューマチックツール製作  
各種建設機械販売・修理・賃貸

## (株)西日本コンプレッサー

(旧(株)明治商会)

本社 大阪市福島区海老江中1丁目2-2

☎ 06 (453) 2021 (代)

工場 大阪市西淀川区竹島町5丁目7番25号

☎ 06 (472) 4785・2198

残暑御見舞い申し上げます 50音順

土木建設機械  
総合レンタル&リース商社  
**平川機工株式会社**

代表取締役 平川 義辰  
☎571 大阪府門真市新橋町20-19  
☎06(908)2681(代)

コンプレッサー バイプロ 発電機  
賃貸 販売 修理  
北越工業(株)コンプレッサー(指定サービス工場)  
トーマンバイプロ(指定サービス工場)  
東洋さく岩機(株)日本ニューマチック(株)販売代理店  
**株式会社 廣津機械工業所**

大阪市浪速区桜川5丁目1423 但し大浪橋東詰  
☎06(562)7201(代)~6番  
第一工場 ☎(561)4616 第二工場 ☎(561)4321

建設機械一般  
**富士建設機械株式会社**

代表取締役 福田 猛  
☎556 大阪市浪速区芦原町1174  
☎06(561)3344  
支店・営業所 東京、仙台、大阪、広島、福岡、城南、  
葛飾、大東、加古川、岡山、倉敷、津山、  
福山、尾道、徳山、下関

仮設材のリース・レンタル  
パイプリア  
パイプケレン機 } 販売・リース  
ゴールデンベッド  
クランプオッケー  
**山一仮設株式会社**

代表取締役 渡辺 昇  
☎578 東大阪市箕輪25番地  
☎0729(64)2351(代)

建設機械の販売と  
レンタル&リース  
**株式会社 横内商会**

代表取締役 横内 武  
☎564 大阪府吹田市南金田町1丁目1-4  
☎06(384)3317(代)

建設機械総合商社  
**株式会社 ワキタ**

代表取締役 脇田 富美男  
☎550 大阪市西区本田町1丁目8-15  
☎06(581)3441(大代)

道路機械一般ほか  
**協田機械株式会社**

代表取締役 協田 佳博  
☎556 大阪市浪速区桜川3丁目2-1  
☎06(561)1551(代)

杭打船の  
リース・レンタル  
**株式会社 和田工業所**

取締役社長 和田 繁夫  
☎550 大阪市西区川口3丁目1-1  
☎06(581)0051(代)

残暑御見舞い申し上げます 50音順

土木建設機械リース  
**大広機械工業**

代表者 加藤 博己  
☎733 広島市中広町2丁目1-3  
☎0822(32)4660

建設機械一般  
**音頭金属株式会社**

代表取締役 音頭 作次  
広島営業所 ☎730 広島市曙町3丁目34  
☎0822(61)4188  
岡山営業所 ☎700 岡山市西市102-14  
☎0862(41)6151

建設機械一般リース  
**光立機工株式会社**

代表取締役 山本 高義  
☎733 広島市大宮2丁目3-15  
☎0822(37)2581

建設機械一般  
**三共リース株式会社**

代表取締役 日笠 保男  
本社 ☎700 岡山市東古松5丁目7-16  
☎0862(31)2305  
広島営業所 ☎733 広島市庚午中3丁目7-5  
☎0822(73)1671

土木建設機械リース  
**(株)山陽機械センター**

代表取締役 続木 偵視  
☎745 徳山市築港町5-1  
☎0834(31)6191

建設機械一般  
**高橋産業株式会社**

代表取締役 高橋 清  
リース事業部 宇部市厚南区妻崎開作  
☎0836(41)6066(代)

水中ポンプ及び揚水機全般  
**中国リース販売株式会社**

代表取締役 阪本 敏彦  
☎733 広島市光南町2丁目23-2  
☎0822(44)7887

建設機械一般  
**富野機工株式会社**

代表取締役 野口 誠輔  
☎720 福山市曙町3丁目252-2  
☎0849(53)3033(代)  
三原営業所 ☎723 三原市皆実町1857-10  
☎08486(4)2441(代)

残暑御見舞い申し上げます 50音順

特殊建設機械全般  
**長浜産業株式会社**

代表取締役 宇都宮義憲  
☎737 呉市阿賀中央4丁目4-12  
☎0823 (72) 5000(代)  
事業所 尾道市東尾道13-3  
☎0848 (46) 4700(代)  
出張所 広島市小町3-22  
☎0822 (49) 8500

建設機械一般

**原商リース株式会社**

代表取締役 秀浦達夫  
☎699-04島根県八東郡宍道町大字白石80-10  
☎08526 (6) 1111

建設機械一般  
**備南電業株式会社**

代表取締役 西山長男  
本社 倉敷市中畝4丁目10-27  
☎0864 (55) 4318(代)  
四国出張所 香川県綾歌郡国分寺町国分  
☎08787 (4) 1421

建設機械一般リース  
**広島菱機株式会社**

代表取締役 森川照夫  
事業本部 広島市出島2丁目19-59  
0822 (53) 3291  
営業所 広島市佐東町八木3151-1  
08287 (3) 3500  
鳥取県米子市米原575  
0859 (33) 5291  
島根県松江西市嫁島町3丁目5-18  
0852 (23) 0433

**(社)全国建設機械リース業連合会九州支部**

支部長 林田陽一郎  
外会員一同

事務局 福岡市東区箱崎7丁目1-24 西鉄建機内  
☎092-631-1331

建設機械一般リース

**稲尾産業株式会社**

社長 稲尾長亮  
☎816 福岡市博多区上月隅字丸田783  
☎092(581)1327

仮設材のリース・レンタル

**九州産業運輸株式会社**

社長 泉清秋  
☎801 北九州市門司区西海岸通り1丁目4の3  
☎093(331)2121

残暑御見舞い申し上げます 50音順

水中ポンプの専門リース

**株式会社 新和**

社長 有田英雄  
〒812 福岡市東区箱崎字本明寺1192の3  
☎092(611)0456

建設機械一般リース

**友清商店**

社長 友清哲夫  
〒812 福岡市博多区東比恵3丁目7の29  
☎092(411)0926

建設機械の  
リース・販売・修理

**西鉄建機**

部長 林田陽一郎  
〒812 福岡市東区箱崎7丁目1の124  
☎092(631)1331

建設機械一般

**福岡建設機械株式会社**

社長 花田有年  
〒816 福岡市博多区竹下202の1  
☎092(431)0967

建設機械重機レンタル

**株式会社 松治リース**

社長 中園正  
〒816 大野城市大字山田354の1  
☎092(582)0007

仮設材のリース・レンタル

**株式会社 矢野商店**

社長 矢野俊昭  
〒810 福岡市中央区天神2丁目 協和ビル内  
☎092(741)3065

残暑お見舞い申し上げます

**(社)全国建設機械リース業連合会**

会長 山内鹿蔵  
役員一同

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル  
☎03(293)7273

## 編集後記

広報委員長

志茂坂 敏



会報「夏季号」をお手元にお届けいたします。今号では、調査委員長坂井熙氏による連合会会員アンケート調査の集計結果をはじめ、建設省建設業者との座談会、先般来日したアメリカレンタル業者の視察に対する各地区の歓迎報告記など内容も盛りだくさんとなっております。少しは皆さん方に参考にしていただけるのではないかと考えております。なお、ご多忙中、執筆して下さった方々、ならびに協賛いただいた各位に対し、誌上ながらお礼申し上げます。

## 事務局だより

### 本部事務局（含む各地区事務局） よりのお願い

- 本部より各地区へ、各地区より会員へ種々お願い申し上げることが多くなっております。折り、一層のご協力をお願いします。
  - ご依頼その他諸通知内容をよくご覧下さい
  - 報告、回答の有無および期日について
  - 報告、回答のあるものは期日前に願います
  - その他
- 地区会員の方の事務所、電話等異動がありましたら大小にかかわらず地区協会にご連絡下さい。地区協会は一括の上、本部事務局にご連絡願います。（緊急を要する場合は緊急のつど）
- 災害は忘れたころにやってきます。不況下に災害が重さならないよう注意の上にも注意し、機械の盗難、人身事故による災害等、事故防止に万全を期して下さい。

（本部事務局担当 香取専務理事）

# 会員名簿

（社）全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿蔵

事務局 東京都千代田区神田駿河台2～1  
近江兄弟社ビル4F  
〒101 電話 03(293)7273～4

協会名	代表者名	事務局所在地	電話	〒
北海道建設機械リース業協会	伊藤 鉄雄	札幌市中央区南1条東3丁目 片桐機械(株)内	011 261-0256	060
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	仙台市小田原弓ノ町31 青葉商工ビル内	0222 56-0126	983
福島県建設機械仮設リース業協会	佐藤 已代吉	福島県郡山市神明町12-8 神明ハイツ311号	0249 34-0878	963
東京建設機械リース業協会	山内 鹿蔵	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03 294-4071～2	101
日本重機械リース業協会	藤井 孝治	東京都千代田区神田和泉町1-1 フェビル内	03 861-4457	101
関東重機リース協会	高村 邦彦	東京都新宿区東大久保1-438 真弥機業(株)内	03 352-3511	160
関東メンクリース協会	会田 寅次	千葉県船橋市宮本1-21-20 安間ビル国土造営(株)内	0474 23-0135	273
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	横浜市西区平沼1-2-23 新中村ビル内	045 322-0613	220
静岡県建設機械リース業協会	松井 重雄	静岡県浜松市安間町264-1 大興産業(株)内	0534 21-1131	435
静岡県重機建設業協会	近藤 憲一	静岡県静岡市下川原6丁目24-1	0542 59-7542	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 熙	名古屋市西区藤ノ宮通り3-43 小出ビル	052 571-2080	451
中部重機業協議会	宮野 正三	名古屋市熱田区二番1-11-16 (株)宮野機械内	052 681-5766	456
石川県建設機械リース業協会	吉川 義孝	金沢市元菊町14-10 (株)ケンシン内	0762 33-1217	920
福井県建設機械リース業協同組合	松田 確太郎	福井市下河北一字町永25-1 ケンキリース(株)内	0776 38-1580	913-03
大阪建設機械リース協同組合	志茂坂 敏	大阪府浪速区桜川8丁目1-12 脇田第一ビル	06 562-1987	556
兵庫県建設機械リース業協会	桐月 正邦	神戸市須磨区外浜2丁目9-19 関西建設機械(株)内	078 735-7873	654
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	広島県福山市曙町3丁目252-2 富野機工(株)内	0849 53-3033	720
四国建設機械リース業協会	木下 浅一	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878 41-2105	761-01
九州建設機械リース業協会	林田 陽一郎	福岡市東区箱崎7丁目1-124 西日本鉄道(株)建機内	092 631-1331	812

## 会報

No.9 夏季号

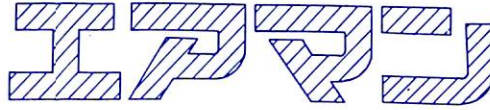
昭和52年8月20日発行

発行所 社団法人 全国建設機械リース業連合会  
東京都千代田区神田駿河台2-1 ☎101  
近江兄弟社ビル4階  
TEL (03)293-7273(代)

発行人 会長 山内 鹿蔵  
編集責任者 広報委員長 志茂坂 敏  
印刷所 朝日出版印刷株式会社

# 独自の技術でリードする…

●世界で最も良く



●世界で最も安い

PDR-125S型



## 防音型 ディーゼル発電機

●12KVA~300KVA



PDG20S型

## 防音型 ポータブルコンプレッサー

●20PS(2.0m<sup>3</sup>/min)~350PS(34.0m<sup>3</sup>/min)

新発売

## 小型発電機

単相・三相



0.5KW~10KVA

## エンジンウェルダー



PGW130型

130A~230A



# 北越工業株式会社

本社工場 ●新潟県西蒲原部分水町大武新田113-1 ●TELEX3193694エアマンイカタ ●TEL (02569)7-3201(大代) ●〒959-01  
 東京支社 ●東京都中野区中野3-34-32 ●TELEX2324042AIRMAN ●TEL (03)382-1221(大代) ●〒164  
 大阪支店 ●大阪府摂津市新在家2丁目32番13号 ●TELEX5236912エアマンオオサカ ●TEL (06)349-3631(大代) ●〒564  
 営業所 ●札幌/盛岡/仙台/郡山/新潟/宇都宮/高崎/千葉/横浜/松本/静岡/名古屋/金沢/京都/高松/広島/岡山/福岡/鹿児島/大分/沖縄